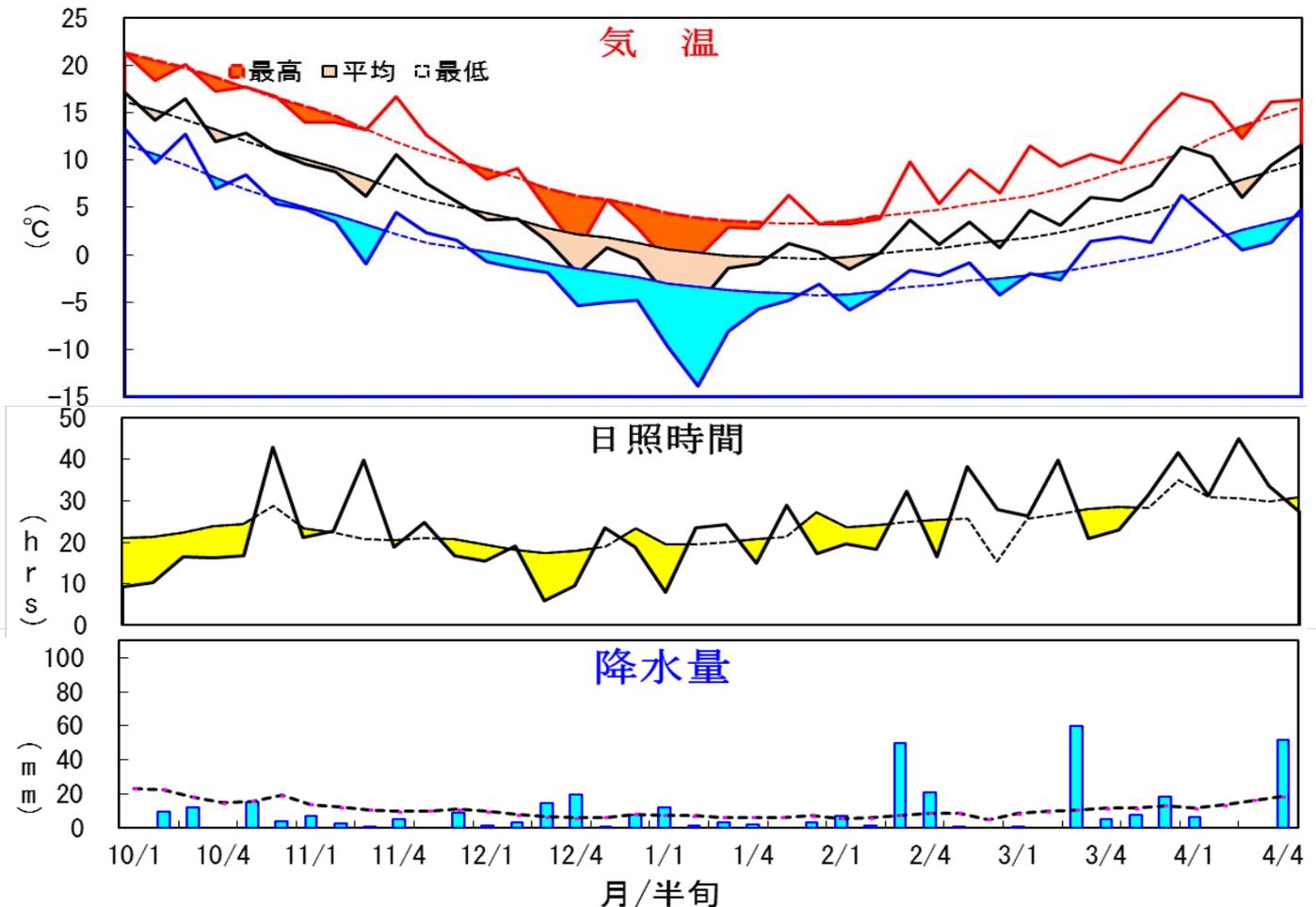


～2月中旬以降の高温・多照で生育は良好、適期追肥・防除を！～

## 1 気象経過（古川アメダス）



- ・平均気温は、12月～1月中旬は低温で、特に1月上旬は強い低温であった。2月中旬以降は高温傾向で推移し、特に3月は観測史上1位の高温となった。
- ・日照時間は、12月～2月中旬は寡照、2月下旬以降は概ね多照傾向で推移した。
- ・降水量は、低温と重なった12月中旬と年末年始は降水がすべて雪、2月中旬は大雨の後、雪となり積雪した。2月中旬以降は1週間程度の間隔で降雨があり、多雨と少雨の期間差が大きかった。

## 2 生育状況：4月9日現在（古川農業試験場、県内普及センター 調査）

### 〔古川農業試験場〕

- ・中旬播種区の生育は、大麦の草丈が平年より高く、葉数は概ね平年並みであった。茎数は「シュンライ」が平年並み、「ミノリムギ」はやや少なかった。小麦は、「シラネコムギ」の茎数が平年値を下回った。
- ・下旬播種区は、中旬播種区と比較して草丈は約60～70%、茎数は約70～80%、葉数は約80～90%程度であった。
- ・幼穂長は、中旬播種区では大麦が13.6～18.6mm、小麦が5.6～6.1mmで平年より長めであった。下旬播種区では大麦が5.5～6.5mm、小麦が3.3～3.6mmで、前年より短めであった。
- ・本年の減数分裂期は、中旬播種では大麦は平年よりやや早く、小麦はおおむね平年並みと推測される。

## 〔普及センター〕

- ・12月～1月の低温で生育が停滞したものの、2月下旬以降の高温傾向により、草丈は平年並み～長めとなった。
- ・茎数は、適期に播種されたほ場では多めであった。
- ・幼穂長は、適期に播種されたほ場は平年より長めであった。

4月9日現在の生育 古川農業試験場(中旬播種=10/19 下旬播種=10/30)

	品種・播種期	草丈		茎数		葉数		幼穂長		減数分裂期		
		本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本年 (枚)	平年差 (%)	本年 (mm)	平年差 (mm)	本年※ (月/日)	前年 (月/日)	平年 (月/日)
大麦	シュンライ 中旬	42.1	142	751	97	9.7	▲ 0.1	18.6	5.4	4/13	4/4	4/18
	同 下旬	24.9	-	554	-	8.6	-	6.5	-	4/21	4/12	-
	ミノリムギ中旬	34.7	125	749	82	10.1	0.2	13.6	4.9	4/17	4/10	4/20
	同 下旬	22.2	-	557	-	8.7	-	5.5	-	4/23	4/14	-
小麦	シラネコムギ中旬	30.2	104	672	79	8.7	▲ 0.6	5.6	1.3	4/25	4/24	4/26
	同 下旬	20.2	-	489	-	8.1	-	3.3	-	4/28	4/26	-
	夏黄金 中旬	30.0	-	704	-	9.6	-	6.1	-	4/24	4/23	-
	同 下旬	22.4	-	573	-	8.1	-	3.6	-	4/27	4/25	-

※減数分裂期の本年値は予測値である。

4月9日現在の生育 普及センター

	品種・区分	地域	播種期		草丈		茎数		幼穂長	
			本年 (月/日)	平年差 (日)	本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本年 (mm)	平年差 (mm)
大麦	シュンライ	大河原	11/14	9	29.3	128	733	117	9.8	▲ 0.6
		桃生	10/16	▲ 8	48.5	187	880	157	19.6	12.6
	ミノリムギ ホワイトファイバー	桃生	10/20	▲ 4	35.0	140	598	109	8.0	2.9
		大河原	11/5	-	37.1	-	885	-	13.9	-
小麦	シラネコムギ	古川	10/16	▲ 8	26.8	132	1,041	116	2.8	0.3
		鹿島台	10/22	▲ 16	53.3	242	1,264	111	10.7	8.6
	小船越	11/29	32	23.4	109	564	62	1.5	▲ 0.5	
	夏黄金	涌谷	11/1	▲ 5	21.6	102	823	81	4.2	1.6

## 3 今後の管理

### (1) 追肥

- ・大麦は、ほとんどのほ場では減数分裂期を過ぎていると思われる(幼穂長 大麦で3cm, 小麦で2～5cm程度)。
- 小麦は、減数分裂期に入りつつあると思われる、減数分裂期及び穂揃期の追肥適期となる。
- ・大麦においては、穂揃期の追肥は硬質麦の発生を助長するので実施しない。

品種	追肥の効果	減数分裂期 (幼穂長30mm) 4月中旬～下旬	穂揃期 (80～90%出穂) 5月上旬～中旬
シラネコムギ	一穂粒数の増加 登熟の良化	窒素5kg/10a	窒素2.5kg/10a
夏黄金	タンパク含有量の増加	窒素5kg/10a	窒素5kg/10a

### (2) 排水対策

- ・これから出穂期を迎えるが、明渠がきちんと効いているか等排水対策に万全を期す。
- ・6月の成熟期に近くなると、湿害が顕著になるので、早めに明渠等の手直し作業を実施する。

### (3) 赤かび病の防除(病害虫防除所サイトより)

- ・赤かび病は、開花期前後にかけて降雨が続き、気温が20～27℃の場合に発生が多くなる。
- ・防除適期は、1回目が開花始期～開花期、2回目がその7～10日後で、降雨が続く場合は追加防除を検討する。
- ・「シラネコムギ」では、開花期が早くなるほど発病リスクが高まる。
- ・「夏黄金」の赤かび病抵抗性は「ゆきちから」よりやや強いが、「中」程度なので「ゆきちから」と同様に3回防除を基本とする。